



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

**▲ 警告** …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲ 注意** …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲ 警告**

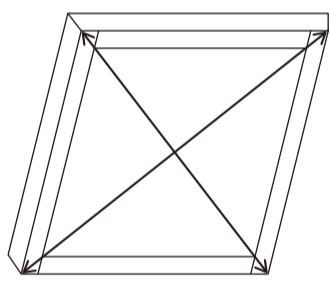
●浴室など湿気の多い場所への取付けは、絶対に行わないでください。感電や故障の原因となるおそれがあります。

**▲ 注意**

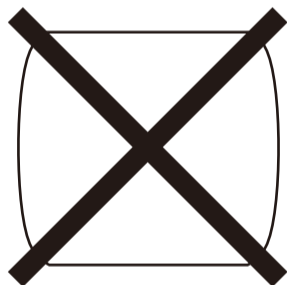
- 電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。漏電・感電・火災の原因となるおそれがあります。
- 取付けねじは必ず指定のねじを使用し、ゆるみ・ガタツキのないように締め込んでください。締め込まれていないと、電動ロールスクリーンが落下し、ケガを負うおそれがあります。
- 電動ロールスクリーン本体を手で下に引張り、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。電動ロールスクリーンが落下し、ケガを負うおそれがあります。

■取付上のお願い

- 電源線と壁スイッチコードは必ず配線固定ステッカーで止めてください。電源線や壁スイッチコードがワイヤーにからまると開閉出来なくなるおそれがあります。
- 製品寸法は規定の開口寸法に合わせて選定してください。開閉に支障が出るおそれがあります。
- 電動ロールスクリーンの開閉に支障をきたすおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・枠の対角差は2mm以内に抑えてください。
  - ・縦枠のたわみ、反りは無い様に取付けてください。



対角差 2mm 以内




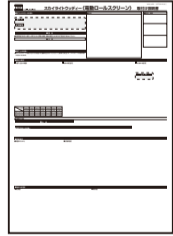

たわみ



反り

- 高遮蔽タイプの場合は、ガラス面より200mm以上離して取付けてください。熱がたまりガラス割れの原因になります。
- 電動ロールスクリーンを取付ける天井面には額縁をつけないでください。故障した場合、電動ロールスクリーン本体が取外せなくなります。

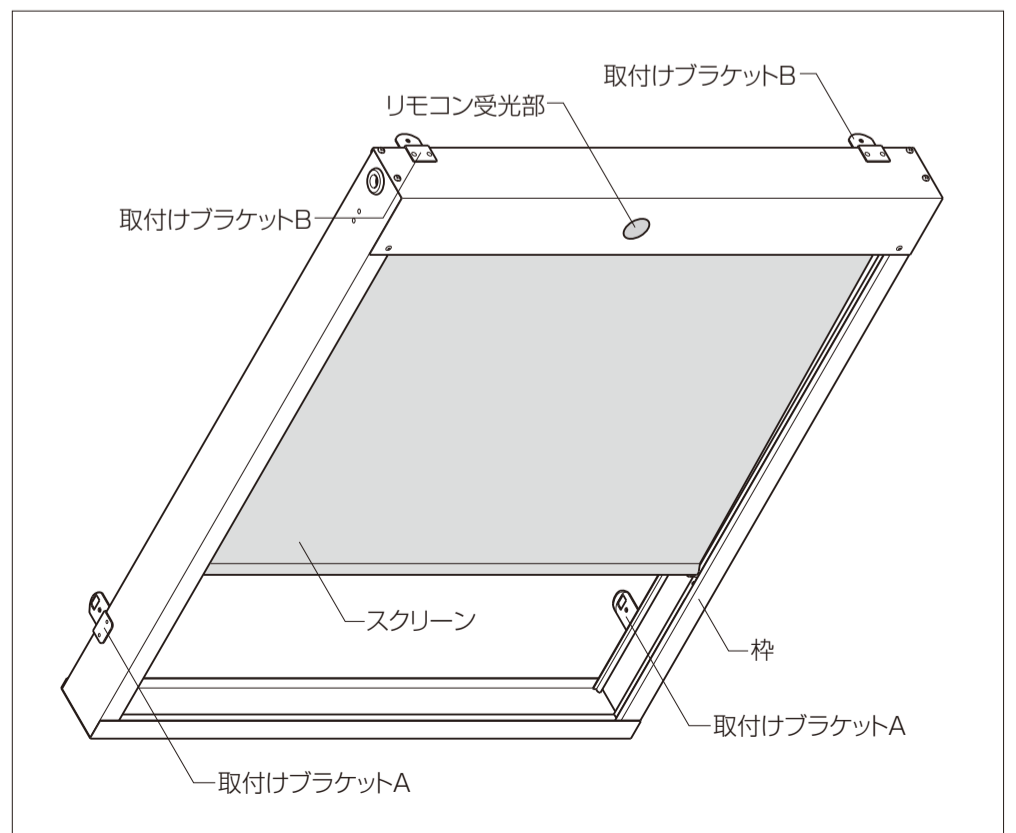
■部品一覧表

取付け用ねじ	取付け説明書・取扱い説明書
 ナベタッピンねじ φ4×20(6本)	 

■取付け順序

- 1 開口寸法の確認
- 2 本体の仮固定
- 3 本体の本固定

■姿図



## 取付け詳細

### 1 開口寸法の確認

● 下表により開口寸法・製品寸法を確認してください。

※ 製品寸法は規定の開口寸法に合わせて選定してください。開閉に支障が出るおそれがあります。

※ 開口寸法は、標準タイプが基本寸法(H×W)、高遮蔽タイプが開口寸法(kH×kW)となります。(納まり図を参照してください。)

※ 標準タイプの場合、電動ロールスクリーン本体が納まるように内装を仕上げてください。

※ 高遮蔽タイプの場合、サイズにより中央に生地だれ防止のためワイヤーが入る機種があります。(12908、09911、06912)

呼称		05405	06905	05408	06908	12905	12908	09905	09911	06912	12903
		H×W	H×W	H×W	H×W	H×W	H×W	H×W	H×W	H×W	H×W
標準	開口寸法(mm)(基本寸法)	502×542	502×692	802×542	802×692	502×1292	802×1292	502×992	1102×992	1252×692	352×1292
	製品寸法(mm)	515×556	515×706	815×556	815×706	515×1306	815×1306	515×1006	1115×1006	1265×706	365×1306
高遮蔽	開口寸法(mm)	522×562	522×712	822×562	822×712	522×1312	822×1312	522×1012	1122×1012	1272×712	372×1312
	製品寸法(mm)	535×576	535×726	835×576	835×726	535×1326	835×1326	535×1026	1135×1026	1285×726	385×1326

### 2 本体の仮固定

① φ3×20の下穴をドリルであけた後、取付けブラケットA 取付けねじ(ナベタッピンねじφ4×20)で縦側枠(高遮蔽の場合は内装ボード)に取付けます。(図-1)

この時、ねじはいっぱいまでは締まず、取付面から5~6mm離れたところまでとしてください。

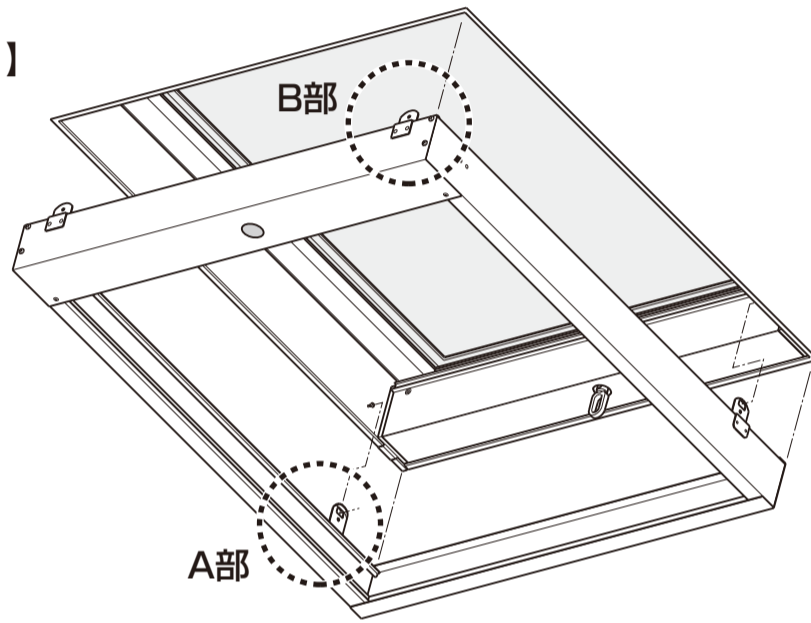
※ A部詳細図のb寸法は(±1)としてください。取付けブラケットAが引っ掛けられないおそれがあります。

② 電動ロールスクリーン本体の取付けブラケットAをたわませながら挿入し、先ほど取付けたねじに引掛けます。

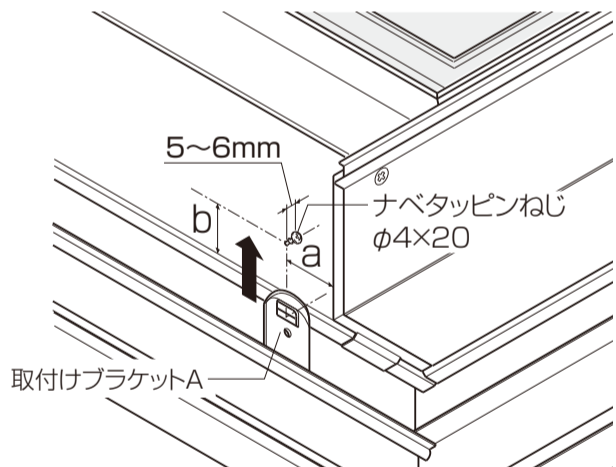
③ φ3×20の下穴をドリルであけた後、電動ロールスクリーン本体上枠の取付けブラケットBをナベタッピンねじ(φ4×20)で棟側枠(高遮蔽の場合は内装ボード)に固定します。

※ 高遮蔽の場合、ねじ止め部は下地材で補強してください。

【図-1】

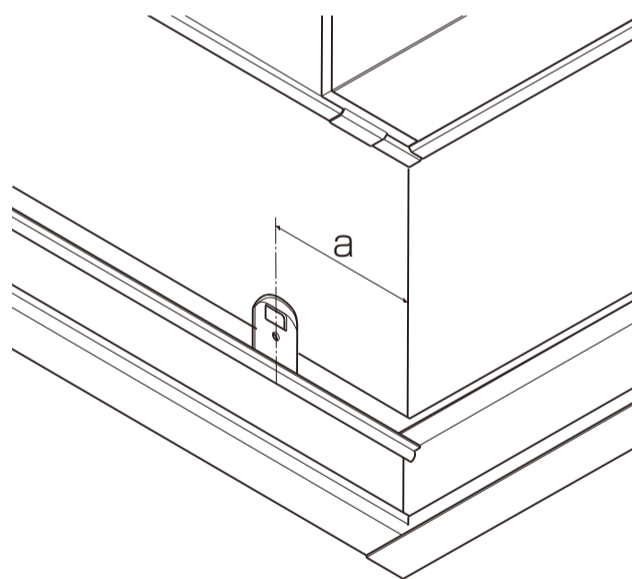


#### ■ A部詳細図(標準タイプ)



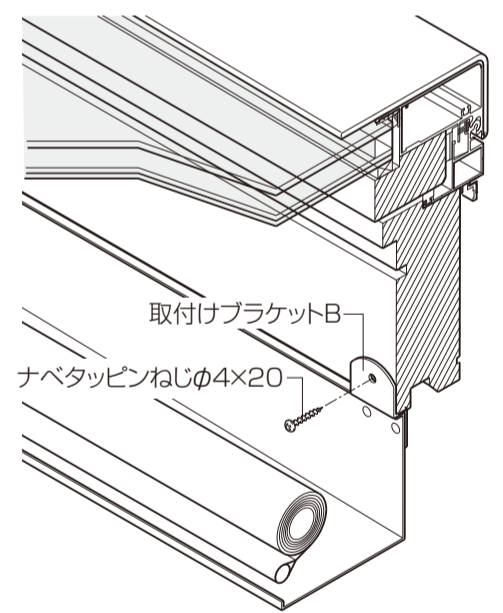
■ a, b寸法表	a	b
天窓が電動のとき	33mm	25mm
天窓が手動のとき	50mm	27mm
天窓がFixのとき	94mm	27mm

#### ■ A部詳細図(高遮蔽タイプ)



■ a寸法:94mm

#### ■ B部詳細図



### 3 本体の本固定

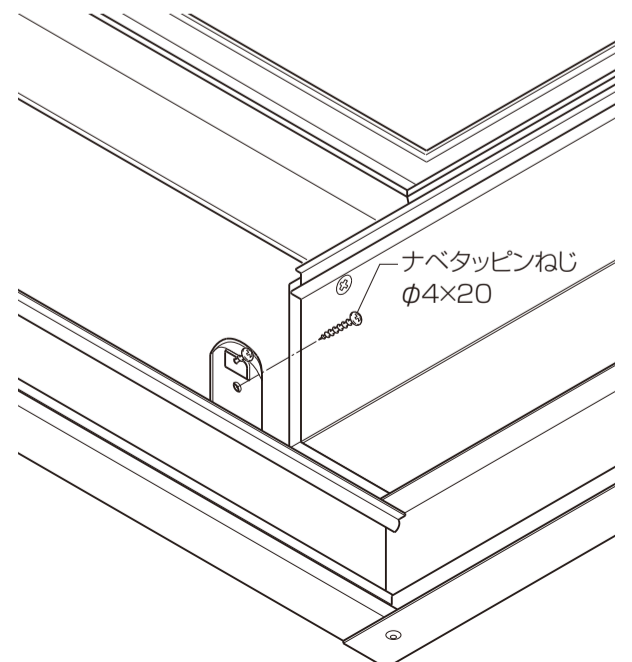
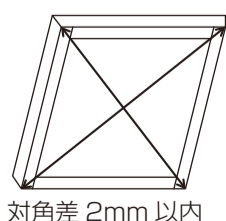
● 仮止めした電動ロールスクリーン本体の取付けブラケットAをナベタッピンねじで本固定します。

#### ▲ 注意

● 電動ロールスクリーン本体を手で下に引張り、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。電動ロールスクリーンが落下し、ケガを負うおそれがあります。

※ 電動ロールスクリーンの開閉に支障をきたすおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・ 枠の対角差は2mm以内に抑えてください。
- ・ 縦枠のたわみ、反りは無い様に取付けてください。



## 電気工事

### ▲ 注意

- 電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。漏電・感電・火災の原因となるおそれがあります。

### ■電気配線上のお願い

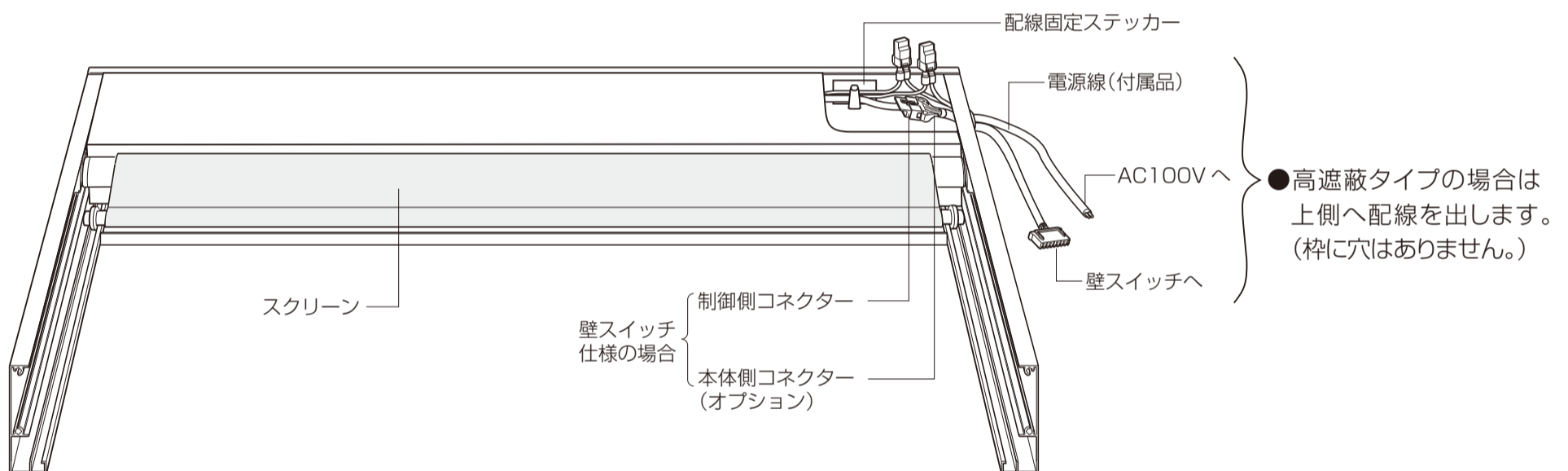
- AC100V以外の電源は使用しないでください。
- ACコードおよび壁スイッチコードは強く引張らないでください。
- 電源とACコードの結線は、ジョイントボックス(別途手配)を使用してください。
- 壁スイッチは当製品専用のもの以外は使用しないでください。
- 壁スイッチ1個で複数台のロールスクリーンは操作できません。
- 内装材にあける配線用の穴はφ20mm以上としてください。

### ■配線順序

#### ■結線のしかた

- ①本体付属の電源線をAC100V電源に接続します。
- ②壁スイッチを使用する場合、接続コードの本体側コネクタと制御側コネクタを確実に接続します。(リモコン使用の場合は、この作業は必要ありません。)

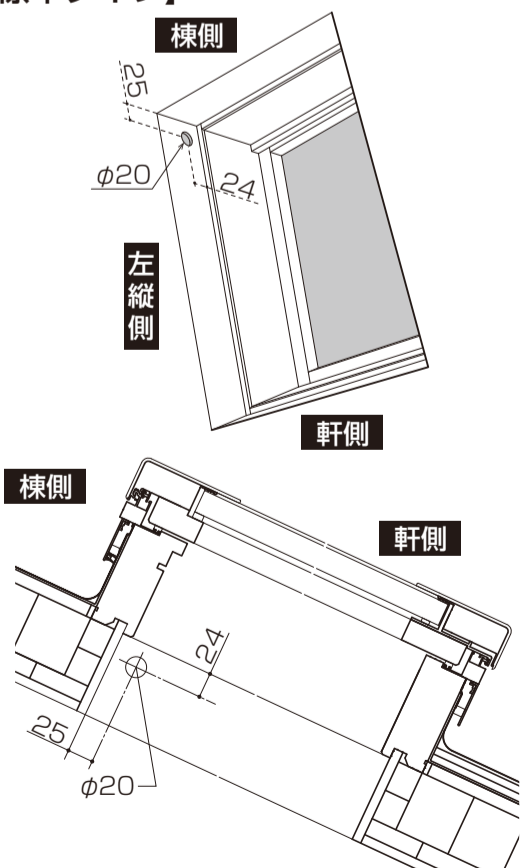
※電源線と壁スイッチコードは必ず配線固定ステッカーで止めてください。  
電源線や壁スイッチコードがワイヤーにからまると開閉出来なくなるおそれがあります。



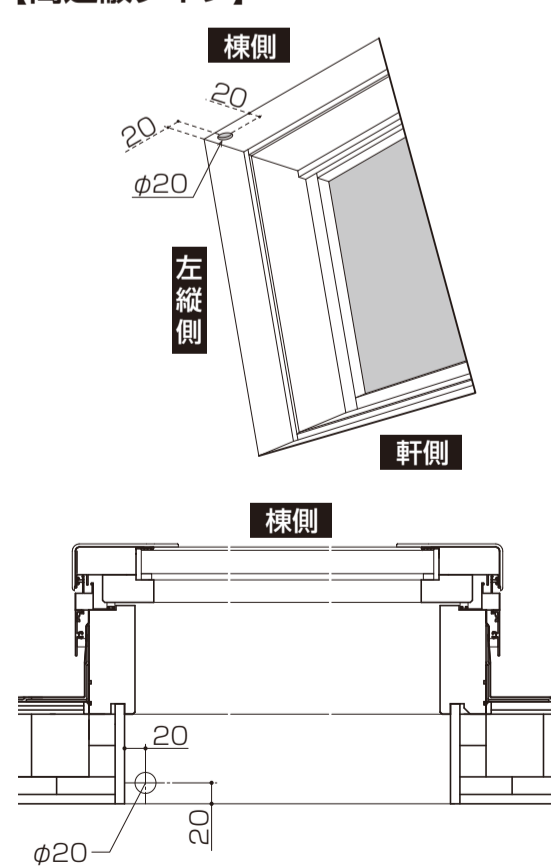
### ■配線穴加工位置図

- 事前に内装へ配線穴をあける場合は、下図を参考に加工してください。

#### 【標準タイプ】

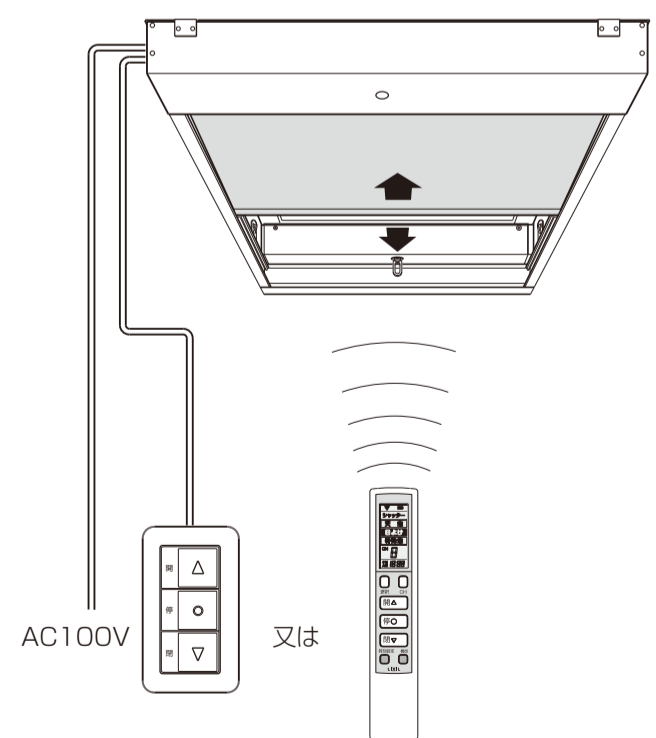


#### 【高遮蔽タイプ】



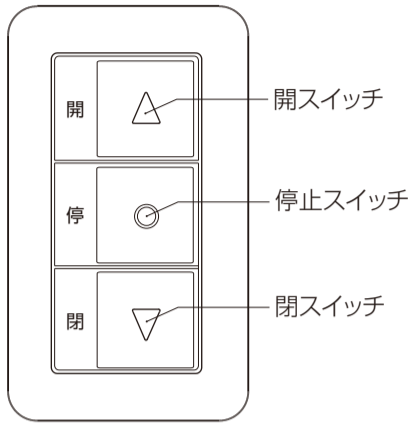
### ■作動確認

- 本体の取付け後、仮配線をして作動の確認を行ってください。  
※詳しくは取扱い説明書をご覧ください。



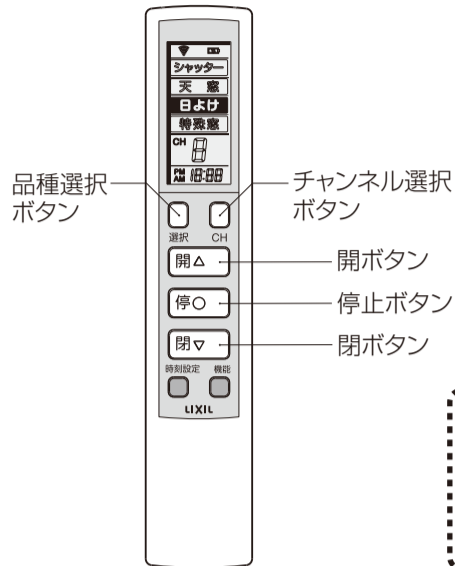
**【壁スイッチの場合】**

- ・開または閉スイッチを押すとスクリーンが作動します。
- ・停止スイッチを押すとスクリーンはその位置で止まります。



**【リモコンの場合】**

- ・開または閉ボタンを押すとスクリーンが作動します。
  - ・停止ボタンを押すとスクリーンはその位置で止まります。
- ※共通リモコンの場合は品種選択ボタンを押して”日よけ”を表示させて操作してください。



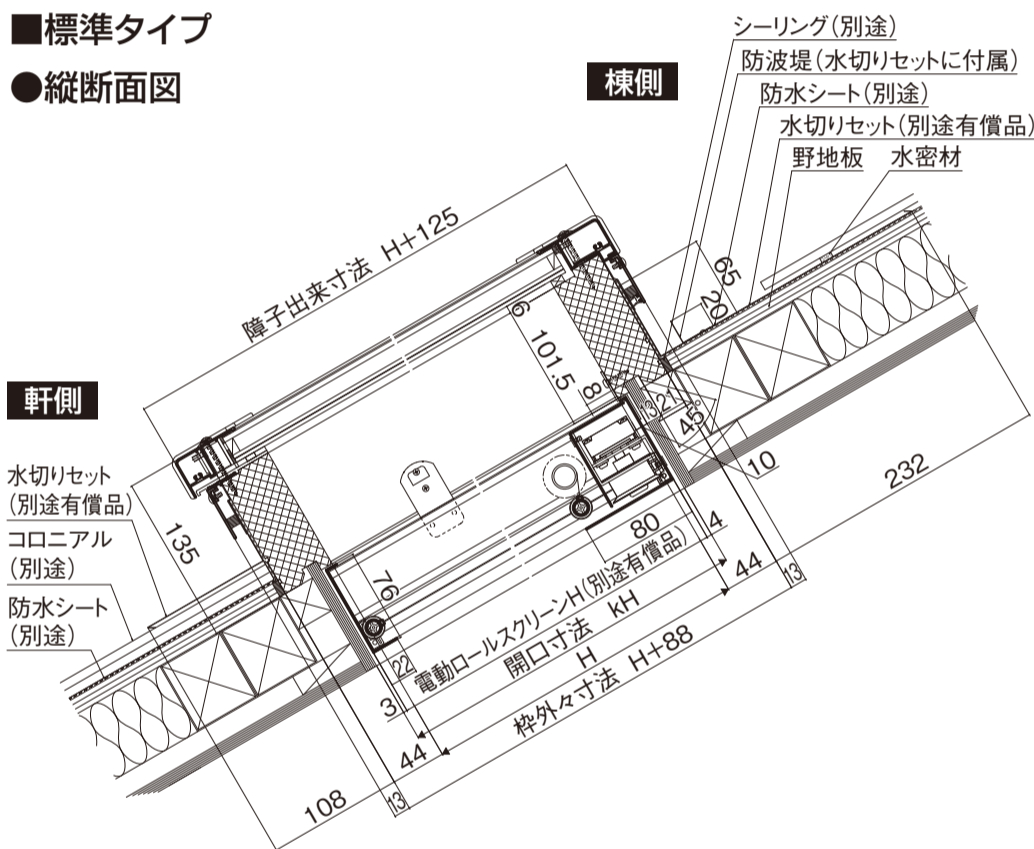
●お願い  
●リモコンの操作範囲は、受光部の正面から直線で9mです。  
(共通リモコン・単機能リモコン)

(例:共通リモコン)

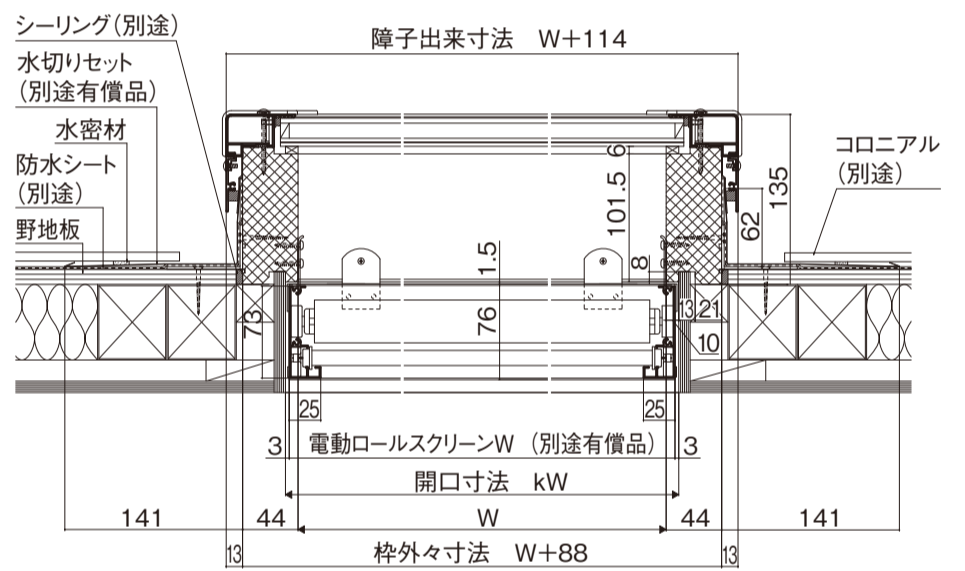
**参考納まり図**

**標準タイプ**

●縦断面図

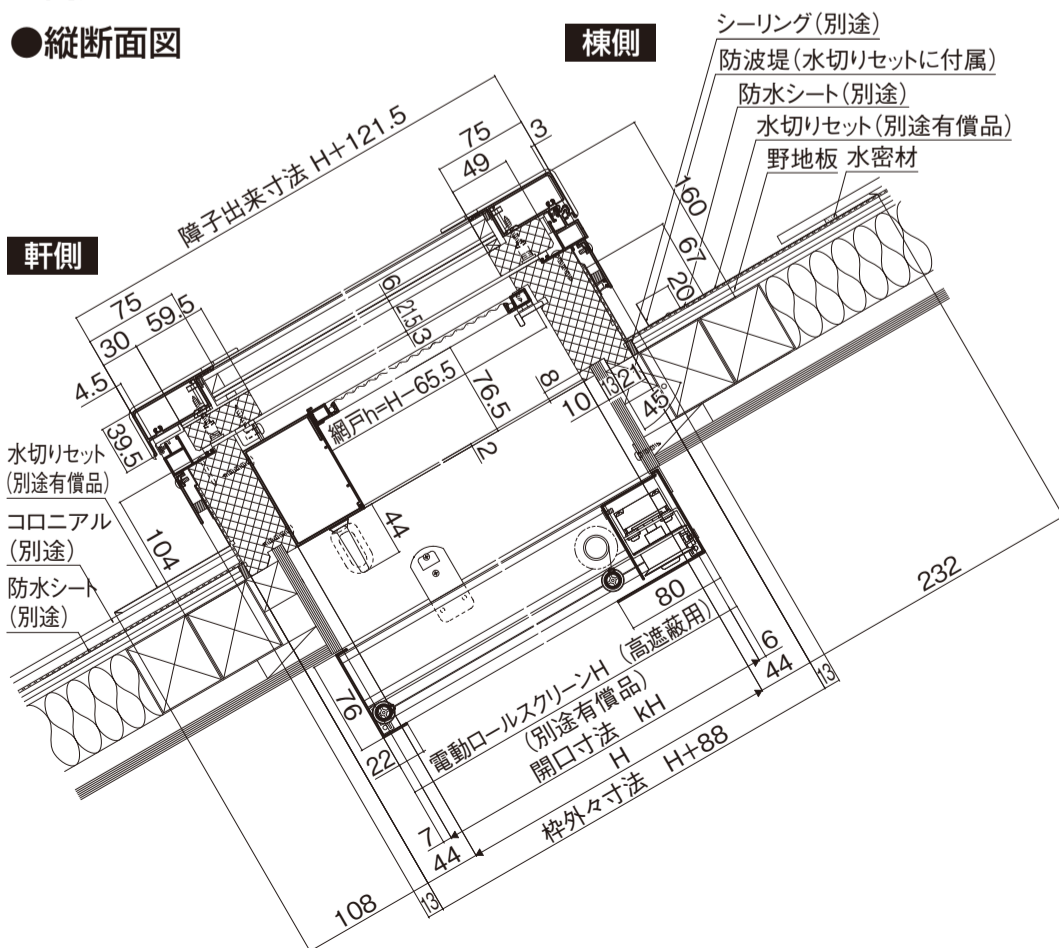


●横断面図



**高遮蔽タイプ**

●縦断面図



●横断面図

